

# 座禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所  
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談  
 診察日：月曜・木曜・金曜  
 受付時間：9:00~12:00、  
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16  
 IP Tel:058-295-9545  
 FAX:058-296-3903  
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp  
 http://zazendoh.town-web.net/  
**197号 2020.8.1.**  
 毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介

## ゆっくり人を殺す人たち

松井 英介

人は人をなぜ殺すのでしょうか

私の身近で、私が知る、殺人を振りかえってみようと思います。

地下鉄サリン事件をご存知でしょうか？

1995年3月20日に東京都で発生した同時多発テロ事件（死者14名、負傷者約6,333人）。世界でもまれにみる大都市圏でひきおこされた、化学兵器を利用した無差別テロ事件として有名です。

事故は通勤時間帯の霞が関で起きました。普通の人たちが被害に遭いました。今も大切な人を失った悲しみや後遺症で苦しんでいる人たちがいます。

今年には戦後75年。

1993年学会の帰り、私は新宿で行われていた第1回731部隊展で、戦争中に地図から消されていた広島県大久野島で、7,000トンに及ぶ大量の毒ガスを製造し、中国戦線に送り出していたことを知りました。国際条約(1925年ジュネーブ議定書)に反して、日本の皇軍は生物兵器や化学兵器を使い、一般の罪もない多くの人びとを殺しました。ペスト菌はじめ炭疽菌や毒ガスなど、その傷跡は今も残っており、ペスト感染ネズミの追跡が続けられています。

しかし私たち日本人の心に深く根を張っている天皇＝英霊崇拜意識と日本人自らの戦争被害者意識、日本民族は優秀であるという意識は、誰が被害者で、誰が加害者かをあいまいにしてきたのです。

もうひとつは、私個人が背負わされた病気です。

骨髄異形成症候群（MDS myelodysplastic syndrome）。

間もなく10年が経過する、2011年3.11フクシマ第一東電第一原発大惨事（フクシマ）。

この人類が経験した最大最悪の原発事故以降、MDSの患者さんは病院データから、東日本及び日本各地で増加が指摘されています。

骨髄異形成症候群（MDS）は、進行すれば白血病への移行もありうる難病。米国で開発された「ビダーザ」は、MDSの治療に大きな効果を発揮する、画期的な新薬として注目されています。日本新薬では2011年3月に「ビダーザ」を発売しました。私は2018年1月からビダーザを毎月一回注射、治療を開始しました。MDSは、その後約2.5年比較的良好な効果が期待できましたが、現在はもはや効果なく、赤血球と血小板を週一回輸血し、血液の状態を整えているところです。

私はMDSや白血病でゆっくり人を殺す人たちに、忘れてはならないし、免罪してはいけないと、自らに言い聞かせています。原発を推進した“平和利用”はまやかしの言葉です。

病気や障害の原因の多くは環境によるものです。仕方がないとあきらめるものではありません。

紹介した以上の例は、権力を手にしたい、支配したい者たちの手によるもの、人の手によるものです。

私たちは、子どもたち未来世代のために、事実を知り、知らせ、どう行動するかを考えるべきです。今の自分を見つめ、何ができるかを考えるときです。

